

日本音楽療法学会第20回近畿学術大会@Web

会期：2022年3月5日（土）～3月21日（月）参加申込締め切り：3月12日（土）

<https://20kinkitaikai.webnode.jp/>

参加お申込みはホームページから！

スマホ・タブレットからも参加できます！⇒



実行委員企画1：当事者と音楽療法について語り合ってみた。

①白井伊佐緒（当事者）・京子 × 勝谷勝史（リハ専門医） × 那須貴之

（プロフィール）2007年に日本で症例がない脳疾患を患い重度高次脳機能障害により壮絶なリハビリの日々を送っていた。そんな中、口笛が上手なことを活かし口笛奏者としてデビューする。その後、口笛を通じて様々なステージに立ち、社会へ高次脳機能障害者支援の必要性を訴え続けている。さらに高次脳機能障害をサポートする活動として一般社団法人アイズを立ち上げ、高次脳機能障害者支援のための啓蒙活動に取り組んでいる。

②西田小百合 × 那須貴之

（プロフィールと概要）保健師。2019年、脳卒中を発症し後遺症（右上肢の麻痺、高次脳機能障害（運動性失語））を有するも、現在は元の職場（兵庫県川西市役所）に復職し介護保険行政に取り組んでいる。リハビリテーション開始当初から現在に足るまで音楽療法も関わり続けている。医療者として、そして当事者として自身の後遺症をどのように捉えているのか、さらにリハビリテーションにおける音楽療法をどのように感じているのか率直に語り合った。

実行委員企画2：インタビューしてみた。テーマ「音楽療法の不易流行」

①Joanne Loewy × 和田 義孝

Joanne Loewy：マウント・サイナイ・ベス・イスラエル病院 ルイ・アームストロング音楽療法医療センター 所長

和田 義孝：実行委員、洛和会京都音楽療法研究センター 音楽療法士、ルイ・アームストロング音楽療法医療センター前アシスタント・リサーチャー

②山野 真依 × 松本 佳久子 × 大東 まどか

山野 真依：訪問看護ステーション musubi 作業療法士・音楽療法士、武庫川女子大学卒

松本 佳久子：実行委員、武庫川女子大学 音楽学部教授

大東 まどか：実行委員、医療法人坂本病院、音楽療法士・公認心理師、武庫川女子大学卒

③児島 純司 × 洛和会京都音楽療法研究センタースタッフ

児島 純司：医療法人社団洛和会 洛和会本部 常務理事

④益子 務 × 大東まどか

益子 務：武庫川女子大学名誉教授、社会福祉法人希望の家顧問、先端応用音楽研究所顧問

⑤濱谷 紀子 × 鈴木 はるみ × 那須 貴之

濱谷 紀子：ノードフ・ロビンズ音楽療法士（NRMT）、NPO 法人 Healthy Children, Healthy Lives、音楽療法グループ MTQ、

同志社女子大学音楽学科 元特任教授

鈴木 はるみ：ノードフ・ロビンズ音楽療法士（NRMT）、NPO 法人あ・うん でんでん虫の家・町田、社会福祉法人なごみ福祉会・療育相談でんでん虫、北海道医療大学 元客員教授

⑥大前 哲彦 × 和田 義孝

大前 哲彦：大阪音楽療法協会代表、日本音楽療法学会国家資格推進委員会 MT データベース担当、同近畿支部メディア委員会メーリングリスト担当、大阪音楽大学・大阪体育大学元教授

⑦上羽（糟谷）由香 × 黒島 めぐみ

上羽（糟谷）由香：白菊園病院リハビリテーション科音楽療法士、京都大学大学院医学研究科客員研究員、米国公認音楽療法士、

日本音楽療法学会認定音楽療法士、同学会代議員、同学会国際交流委員会委員長

黒島 めぐみ：実行委員、医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院、くらしき作陽大学卒

⑧山田 由紀子 × 伊藤 美恵

山田由紀子：日本音楽療法学会認定音楽療法士、同学会代議員、西宮音楽療法研究会理事、音楽療法グループ アン・ディ・ムジーク代表

伊藤美恵：副実行委員長、京都こらぼねっと代表

⑨小池 みなみ × 政木 真理子

小池みなみ（旧姓 徳光）：医療法人医誠会 都志見病院 音楽療法士

政木真理子：実行委員、医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 音楽療法士

実行委員企画3：音楽療法士認定校（養成校）企画

同志社女子大学の学部生 & 武庫川女子大学の学部生

実行委員企画4：REMO Presents “Rhythm Wellness and You”

～パーカッションの可能性～

（協力）Remo, Inc. 株式会社 ヤマハミュージックジャパン、講師：Arianna Monge（米国認定音楽療法士、MT-BC）

音楽を通じて人とのつながりを感じ、喜びを分かち合う、パーカッションの可能性を感じるアクティビティのヒントをお伝えします。
コロナで疲れたあなた自身のリフレッシュ、ストレス解消にもなれば幸いです。
日時等は現在検討中、ZOOM を用いたリアルタイムでの開催（先着定員あり）、ZOOM 開催後は動画を配信予定。

実行委員企画5：講演会＋ミニシンポジウム（義肢装具士 × 音楽療法士）

「対象者を支援する多職種連携～音楽を絡めて～」

2022年3月13日（日）、午前10:30～12:00（講演60分＋ミニシンポジウム30分）

ZOOMにて開催、先着100名様入室可（開催後は動画を配信）

講師：徳井 亜加根先生（国立障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科厚生労働教官）

（プロフィール）義肢装具士。株式会社小豆澤整形器製作所にて急性期医療における臨床業務に従事した後、国立障害者リハビリテーションセンターにて学院教官を拝命、病院での臨床業務、研究所における研究活動も並行して行っている。研究テーマは、関節リウマチ、頸髄損傷、障害者スポーツ、義肢装具分野におけるICT技術など多岐にわたる。

（講演内容）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では障がい者スポーツが注目され、義足で走るイベントが全国各地で開催されるようになってきました。しかし、障がいのある子どもたちが困っているのはスポーツだけでしょうか？そんなはずありません。しかし、障がい者音楽という言葉はほとんど耳にしません。障がいのない子どもたちでも難しいリコーダー演奏を、上肢に障がいのある子どもたちはどのように行っているのでしょうか？リコーダー演奏に困っている子どもたちは全国にたくさんいます。リコーダーを諦めて、打楽器担当になっているだけです。上肢に障がいのある子どもたちのリコーダー製作・改造について中心的な役割を担ってきた東京都補装具研究所が1997年に閉鎖され、現在はリコーダーの相談窓口すらありません。音楽療法士と義肢装具士が手を取り合って、リコーダー演奏を諦めている子どもたちへの支援に取り組んでみませんか？

座長：那須 貴之（医療法人篤友会 坂本病院）

講習会@オンデマンド

1、「言語と音楽：脳内メカニズムと臨床応用」

佐藤 正之先生（東京都立産業技術大学院大学 認知症・神経心理学講座 特任教授）

2、「発達障害と感覚過敏」

崎濱 盛三先生（洛和会音羽病院神経精神科副部長）

3、「対象者の「持てる力」を引き出す伴奏法 ～歌唱・合奏において～」

平田 紀子先生（東邦音楽大学 准教授）

4、「こころを病む高齢者への接し方」

吉田 勝明先生（日本音楽療法学会理事）

5、打楽器ワークショップ、「小物打楽器・身近なモノで楽しいリズムを体感しよう！」

山本 晶子先生（パーカッショングループ「フラワービート」代表）

3月6日（日）13:30～15:00、オンライン上でリアルタイム実施